

論文の内容の要旨

論文題目 メインストリート・プログラムにみるアメリカの歴史的環境保全についての研究

氏名 梅津 章子

本論文は、アメリカにおける歴史的環境保全活動の流れのなかで、メインストリート・プログラムの意義について明らかにする事を目的としている。

メインストリート・プログラムとは、全米で唯一、全米規模の歴史的環境保全活動を実施している非営利団体、全米歴史保全基金（National Trust for Historic Preservation: NTHP）の一事業として展開しているプログラムであり、“歴史的環境保全（historic preservation）”と“経済再活性化（economic restructuring）”によって、コミュニティの保全を目的としたプログラム“である。

アメリカの歴史的環境保全活動の中で、「コミュニティ保全」という概念が見られるようになったのは比較的最近の事であり、コミュニティつまり地域社会の保全を理由として歴史的遺産が保全されるようになってきている。この「コミュニティ保全」とは、本来社会学の分野で議論されてきた言葉であり、歴史的環境保全においては議論されるものではなかった。しかし、本論文の主題であるメインストリート・プログラムにおいて積極的に「コミュニティ保全」が重視されるようになり、その結果、歴史的環境保全も様々な社会的問題について取り組まざるを得なくなっていく。そうした流れのなかで、歴史的遺産を保全することの意義が次第に変貌してきている。

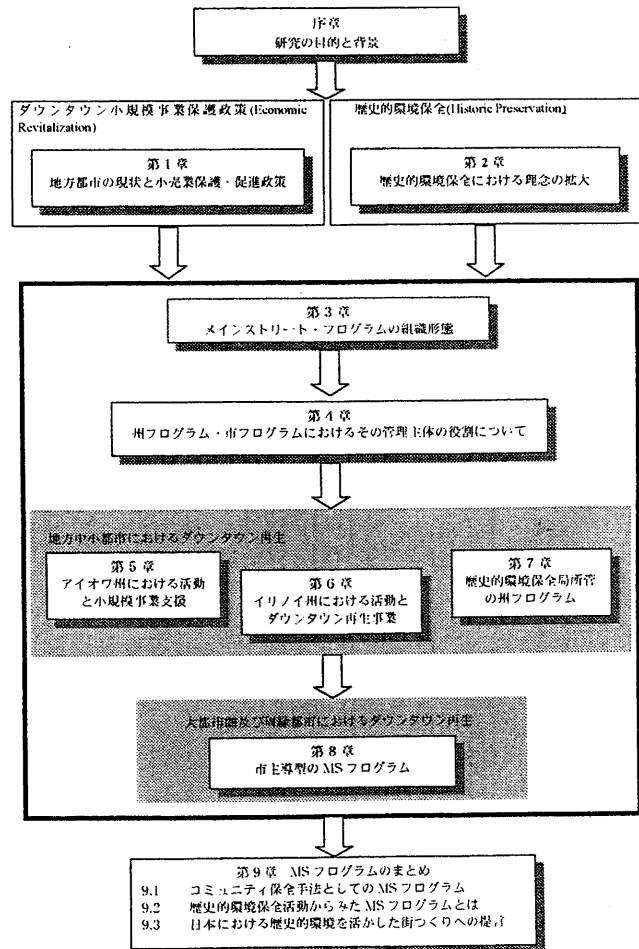


図-1 論文の構成

本論文は第9章から構成されている(図-1.)

第1章ではMSプログラムの対象となる小都市の史的変遷とその再生事業について概略し、第2章では歴史的環境保全という概念が、歴史遺産を保護するという直接的な目的から、次第に歴史遺産に携わるコミュニティの保全、あるいは歴史的環境を保全することによってコミュニティの環境の質を高めるためといった理念が拡大をみせるが、具体的にメインストリート・プログラムの中でどのように変化していったかを概略する。第1章、第2章を受けて、第3章以降でメインストリート・プログラムの実際について分析する。まず第3章で、メインストリート・プログラムの歴史的変遷を含んだ概略(NTHPの役割)、第4章では具体的にプログラムを管轄する組織について、州レベルと市レベルでの役割それぞれの役割について、第5、6、7、8章においては、5章で分類分けされた各分野で活発にプログラムが推進されている州・市を取り上げ、州レベルでの活動、市の役割、コミュニティの活動事例を紹介しながら、プログラムの全体を把握する。結章として第9章では、メインストリート・プログラムの特徴を明らかにし、更に歴史的環境保全活動からみたプログラムの意義をまとめる。日本におけるプログラムの有効性について提言する。

メインストリート・プログラムを特徴づけているのは、NTHPの掲げるコミュニティ再生の為の、4ポイント・アプローチと呼称される基本的な戦略1)組織運営(Organization)、2)賑わい創出の為のプロモーション活動(Promotion)、3)既存の経済遺産を活かしながらの経済再活性化(Economic Restructuring)、4)質の高いデザイン(Design)という4分野を包括した総合的戦略である。実践の場としては、かつてコミュニティの生活の中心の場であった既成市街地(ダウントウン)の再生事業に見られる。プログラムの考える理想的都市空間とは、19世紀から20世紀にかけて地方都市が最も栄えた時代の商業、業務、行政、そして娯楽としての中心地である。現在の車依存型の社会ではなく、ヒューマン・スケールの街路空間のアクティビティが見られた時代を追求している。そうしたヒューマン・スケールの安全な街づくりには、絶えず人の流れがあるような空間が必要であり、そういった意味で多種多様な小売業(retailing)が必要とされ、ダウントウンの主要な要となっていると捉えられている。実際、事業としては、商業集積地のみを集中的に展開しているように見えるが、事業決定には事業主のみならず、住民を代表とする人々の合意の上で成り立っている。つまり住民もダウントウン全体の利害関係者であり、その中での小売店を中心とした商業施設の重要性を十分に認識しているために、様々な業種の人々が事業に参加している。こうした人々を統括するためにコミュニティ主体で組織化された団体をメインストリート組織と呼称される。

このようなコミュニティ主体の組織を支援するために、ナショナル・レベルから、州レベル、

地方自治体レベル、そして地域レベルで様々な支援プログラムが組み立てられている（図-2）。

まずナショナル・レベルでは、NTHP 内にメインストリート・プログラムのオフィス NMSC が設置されているが、NMSC は全米から集められたデータをもとに情報発信としての役割を担っている。さらに連邦政府レベルでは、コミュニティ再生の為の様々な方策が取り組まれているが、そうしたコミュニティ開発施策は州あるいは地方自治体を通してメインストリート・コミュニティに投資されている。

メインストリート・プログラムで重要な役割を担っているのは、州政府である。なぜなら具体的にメインストリート・プログラムを展開するため調整を行っているのは州レベル、基本的には州政府内に設置されたオフィスであり、全体を管轄している。州に設置されたオフィスで各地区の課題等を吸い上げ、そうした課題を対処するために NMSC を始めたとした専門的解決を要請するための調整を行う。またメインストリート・プログラムに関わる法制度を整備したり、初動基金として補助金をだしているのも州政府である。また NMSC 等への要請も州政

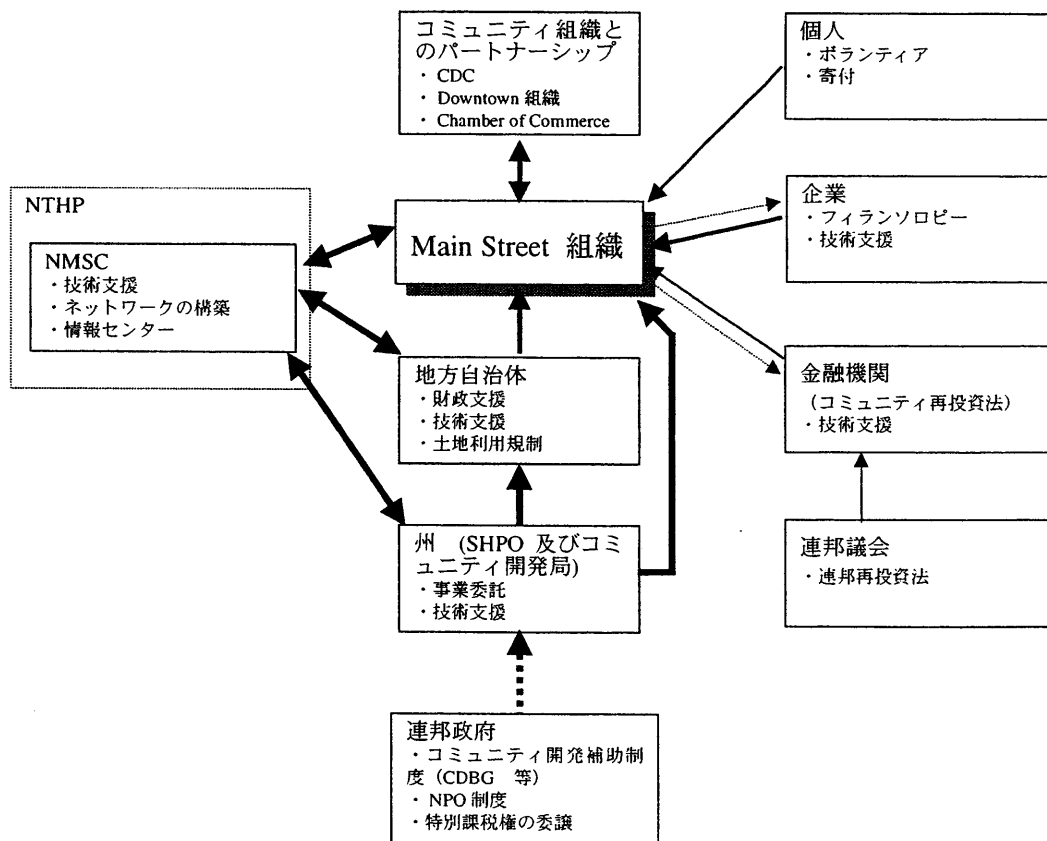


図-2 メインストリート組織を支える社会システム

府が依頼し州オフィスで負担している。そのため、メインストリート・コミュニティは基本的にそうした専門的支援を無償でうけることができる。全米で 38 州で現在、州レベルでメインストリート・プログラムを管轄している。しかし、メインストリート・プログラム期間終了後も継続して再生事業が行うためには、市政府の支援は非常に重要である。実際にプログラム活動を財政的に支援しているのは市政府であり、全 MS コミュニティのなかで平均して 7 割ほどが何らかの市政府による財政的支援を受けている。

このようにしてメインストリート・プログラムとは様々な社会システムに支えられ事業展開している。こうして従来の独立した歴史的遺産保護施策から、実際の社会システムの中で議論されるようになるにつれて、歴史的遺産を保護することの意義について変貌してきている。

その意義については従来の①「建築的・歴史的価値」の保存（従来の保全理念）から、②新しい魅力ある空間創出のために「歴史」が不動産の価値を高めるという「経済的価値」が生まれ、③更に公民権運動に刺激されたマイノリティあるいは低所得者の意識改革によって「歴史」とはコミュニティのアイデンティティの構築に寄与し、歴史的多様性を確保するという「社会的価値」が生まれた。さらに④様々な価値を有するものとして、コミュニティの抱く歴史的遺産の「質的・美的価値」が認められるようになってきている。つまりメインストリート・プログラムにおける歴史的環境保全の意義とは「環境の質」を高めるものにまで、その意味を拡大している。

既成市街地の活性化が叫ばれて久しい日本において、メインストリート・プログラムから得られる示唆とは、いくつかの点があげられる。まずメインストリート・プログラムが成功した要因の一つとして、既述したようにダウンタウン再生あるいはコミュニティ再生に対して様々な分野からの支援体制が確立していることである。特に財政的支援については、事業に対してではなく、組織運営に充てるように規定している所がほとんどである。つまりコミュニティ主体の組織運営が確立して初めてコミュニティ主体の街づくりが実践されているのである。このようにコミュニティ活動を支援する体制を構築する必要があると考える。さらに、全米レベルでのネットワークを構築して、中立的な立場で技術支援や情報提供のできる NTHP の存在は重要である。

メインストリート・プログラムはアメリカだけでなく、カナダ、オーストラリア等の各地で導入されており、各地区の特色に適応したプログラムが実践されている。もし日本での導入を考えるにあたり、障害となるのはやはり組織運営であると考え。自助努力によって組織運営を展開してきたアメリカでは、他の事業と同じく扱うことができるが、日本において自助努力による街づくりの土壌のない日本においては、組織づくりを、ファンドレイジング活動などの財政機関と、対外的にボランティアを開拓する機関との分離が適切であると考え。